

謹んで新春の お慶びを申し上げます



船名：パシフィック・ワールド号
就航年：1995年
総トン数：77,441トン
全長：261.3m
全幅：32.25m
乗客定員：1,950人
乗組員数：900人

歩み

2026. 1. 1
NO. 692 号

全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27

06-6574-8424
078-303-0800



新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、新年を迎えご家族やご友人と過ごされ、楽しく穏やかな年始をお過ごしのことと存じます。

大阪・関西万博 の夢のあと… カジノ設置を 許すな！

昨年大阪では、夢洲で大阪・関西万博が半年にわたって開催され、本部事務所がある大阪港駅周辺も多くの観光客でにぎわいました。幸い危惧していたDICTでの海コン車両の大きな滞留や台風による風水害被害もなく、ご家族や友人たちと楽しまれた方もいらつしやると思います。

のべ2550万人来場というものの、複数来場を除けば1000万人台ともいわれています。

見ごたえのあるパビリオンやイベントもあったようですが、企業に入場券を税控除で買わせてばらまき、子どもたちは学校動員。並ばない万博のほずが炎天下

で長時間の待ち時間が発生するなど、本当に「いのち輝く未来社会」のスローガン通りであったのか疑問に思います。

噴出した問題点は、パビリオン建設の遅れ、実質2倍増の建設費・運営費、メタンガス爆発の危険など、どれも維新の会が、無法なカジノのインフラ整備を公費でやるため、夢洲での万博開催を押し付けたことが根源です。

特にひどいのは、海外パビリオン建設工事の代金が未払いで窮地に立たされている下請け業者で、劣悪な環境のもと不眠不休で工事をやり遂げながら、未払いで家財を売り払ったり差し押さえに遭ったりするなど、深刻な実態が浮き彫りになっています。

維新府市政は、万博優先で賃上げ支援も全国一高い社会保険料値下げもなし。万博便乗の大型開発のツケがこれからのしかかります。

そして現在、統合型リゾート（IR）の建設工事が急ピッチで進められています。が、カジノ設置を許さないうたたかいを強化していかなければなりません。

日港協は誠意をもつて回答せよ

港湾労使間で懸案となっ

ている産別最賃の回答を巡っては、日港協が国を相手に都労委命令の取り消しを求めて裁判を提起していましたが、東京地裁は9月、「正当な理由のない団体交渉拒否に該当する」として原告（日港協）の請求を棄却し、同時に「独禁法に抵触するおそれがあるとの理由で回答を拒否してはならず、誠実に応じなければならぬ」とした緊急命令も発せられました。

11月に開催された中央港湾団交で、日港協は19年時点での最賃要求額には満額回答したものの、25年春間要求額とは大きな差があり、全国港湾は日港協に対して怒りの抗議行動を実施しました。

トラック労働者もそうですが、港湾労働者も長年にわたり長時間労働・低賃金にあえぎ、魅力ない職業という枠から抜け出せていません。そのため、慢性的な労働者不足により、企業の生産性も上がらなくなっています。

加えて、「トランプ関税」の直撃を受けて、輸出も1・2%減と落ち込みました。

2026年の たたかい

阪神支部の賃金闘争では、賃上げ、一時金とも昨

年実績は上回ってはいますが、毎月勤労統計では実質賃金が10か月連続で減少しており、賃金の伸びが物価上昇に追い付かない状況が継続しています。

国に対して、大企業への減税を改めさせ、中小企業が価格転嫁できるような仕組みや取引環境を整わせるとともに、バラまき給付ではなく消費税減税を実行させることが大事だと思います。

世界平和を祈念

そして忘れてはならないことは、今も世界の各所で絶望的な戦闘が続いていることです。国家間対立、紛争、戦争は人道の問題であるだけでなく、私たちの経済・生活条件に直結します。国が誘導する政治思想に惑わされ取り込まれることなく、世界の人々と連帯し、友の手を携えて平和を作り上げ維持していくことが大切です。

最後に、本年も様々な課題が山積しています。阪神支部がこれまで以上に団結し、経済闘争や大衆運動をリードし、誰もが明るい展望の年となりますよう祈念いたします。年頭の挨拶と致します。

組合員の皆様、今年もよろしくお願い致します。

新年の抱負

上組分会



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日頃より上組分会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨今、不安定な世界情勢による物価高騰、日中関係悪化による経済不安、労働者不足による物流の停滞など私たちを取り巻く労働環境は大きく変化し、賃金・労働条件の改善、働き方改革の実効性確保、安心して働き続けられる職場づくりなど、労働組合の果たすべき役割はますます重要となつていきます。

各職場では、労働者不足が深刻で現場の高齢化が進んでいます。人員補充もな

く個々の労働者の負担が増加しています。また60歳以降の賃上げなど課題は山積んでいます。

私たち上組分会は、「対話」と「産別運動」を基本に、組合員一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、建設的な活動を通じて、現場の実情を的確に捉えながら、粘り強い交渉でより良い労働条件と働きがいのある職場環境の実現に向けて、団結を強め未来につながる職場づくりを目指してまいります。

本年が皆さまにとって実り多い一年となりますよう心より祈念し、新年の抱負とさせていただきます。

上組分会

分会長 山本 順一

天神運輸倉庫分会



私が会社に入社し、分会に入つて今年で三十六年が過ぎました。

今思い起こせば色々なことがありました。

入社して長い間ドライバ―が皆組合員というのが当たり前の状況でした。

しかし、分会内のトラブルがきっかけで半数の組合員が脱退し、残った五人で組合活動を続けていました。

そこから一人辞め、また一人辞め……。最終的に二人だけの分会となり、財政的にも厳しい状況の中、何と

か協力しながら二人でやってきました。

現在、新規で若い二人の青年が加入し、脱退した人が一人再加入して何とか分会としての運営ができるようになって仲間が増える喜び、有難さを改めて感じています。

以上の経験から今年は、組織拡大を一番の目標とし、昨今の物価上昇に見合う賃金の獲得を目指し、春闘や一時金交渉を頑張っていきたいと思っています。

天神運輸倉庫分会

分会長 古石 俊治

大阪荷役分会



新年あけましておめでとうございます。

大阪荷役分会は、組合員相互の信頼と団結を力に、日々の業務と組合活動に取り組んでいます。

本年は、長引く物価高に負けない大幅な賃上げと、安心して働ける安全な職場環境の確立をめざし、春闘をはじめとする諸課題に全力で取り組みます。

困難な情勢の下ですが、労働者の権利を守るため、阪神支部の仲間とともに力強く歩みを進めていきます。

本年もよろしくお願ひいたします。

大阪荷役分会

分会長 豊川 信之

新神戸セキュリティ分会



新年あけましておめでとうございます。

私たちの分会の特徴はいくつか有ります。

阪神支部52分会中、警備業は当分会のみです。

また会社設立当初から組織された労働組合であり、

経営者側との関係性も良好です。

さらに、「港湾工事の進捗による業務の変化」、「ユーザー様の都合による業務内容の変化」に左右される受託業務が多く、「雇用確保」、「雇用環境の維持・向上」は強く求められます。

「SKS分会だからこそできること」「SKS分会だからこそ、求められること」を見つめなおし、労働組合活動を進めます。

本年もよろしくお願ひいたします。

新神戸セキュリティ分会

分会長 松下 育夫



第33回青年部総会

青年層を拡大、活動を強化し
組織をもり上げよう！

12月13日、神戸市中央区文化センターにて「第33回青年部総会」を開催しました。

各分会から青年部層が集まり、2025年度の活動報告や今後の企画について熱心な議論が交わされました。



報告を行う岩鼻部員

活動報告では「大阪・神戸ブロック・青年部合同旗開き交流会」「青年部・ブロック合同学習会」「地引網体験&海鮮BBQ」「関西地本青年部学習会」などを行ったこと、特にレクリエーションの地引網体験では子ども連れの仲間にも好評で、交流の輪が広がったことが報告されました。

総括では「青年部の運動体制を刷新し、各分会青年層の再結集を柱に強化を進めてきた。月例会議も定着し、新たな青年部づくりが始まっている。形にとらわれず、時代に合った活動を模索していきたい」と力強く語りました。



古田中央執行委員

岩鼻部員からは、全港湾中央第25回青年対策会議の報告があり、各地方・支部との交流や勉強会、レクリエーションの様子が写真を通じて紹介されました。「最初は参加にためらいがあったが、すぐに打ち解けて楽しく過ごせた。ぜひ皆さんも参加してほしい」と呼びかけ、会場からも共感の声が上がりました。続いて、西部長から2025年度活動報告および総括が行われました。

また、全港湾中央執行委員で東京支部の古田委員長からは、執行部着任までの経緯や港湾業界のたたかひの歴史について語られました。「港湾業界を取り巻く環境が急速

に変化する中、青年部は時代を担う存在。より一層団結し頑張つてほしい」との激励に、参加者は真剣に耳を傾けました。

総会開始前に参加者から募集したレクリエーション案は、サイクリングやグラウンピング、スキー・スノーボード、ディズニード、USJなど多彩な内容



参加者で記念撮影

が寄せられました。ルールブックで抽選を行った結果、ビアガーデンに決定しました。西部長は「今から準備を進め、交流の場をさらに広げていきたい」と意欲を

第47回地本労職対定期総会

安全が最優先

一人ひとりの意識、行動が

仲間を守る！

12月12・13日に第47回地本労職対定期総会が神戸ホテルフルーツフラワーで開催されました。

開会挨拶で吉副委員長は「地本労職対の最大の目的は労安活動を通じ労災私傷病をなくすことである。関西地本には200を超える分会が存在し、労職対委員が管轄するのは物理的に不可能である。委員一人ひとりが知識を高め支部に持ち帰り分会へとつなげることが大事」と活動の原点をについて話しました。

また「関西地本育児・介護休業制度の協定書を交わしていない分会が多く残っている。自身の分会では3名が育児休業に入っている。会社は協定書締結を求

めていくのはもちろん仲間の休業に対する職場への理解も引き続き求めていきたい」との福利厚生面の拡充で魅力ある港湾へとつなげる決意を述べました。

議長団には大阪支部の伊藤氏と阪神支部の明石氏が

示しました。最後に佐藤青年部員の団結カンパローで総会を終えました。

青年部事務局長

横内 魁斗

選出され、その後の議事を進めました。

関西地本代表として登壇した樋口書記長は「日本の四季はもう二季となつてしまったような極端な暑さや寒さだ。それに加えて地震や豪雨等で私たちの生活する環境は大きく変わりつつある。特に今年の夏は猛暑に見舞われ、改めて熱中症対策の重要性を感じた。地本労職対でも議論されたが猛暑手当を支払うから働けという考えでは職場環境改善にはつながらない。引き続き対策を議論すべきだ」と1年を振り返りながら活動のさらなる活発化を求めました。



小此木克夫氏

記念講演として神戸西労働基準監督署第一方面主任

労働基準監督官である小此木克夫氏をお招きし「労働災害防止等について」と題し講演が行われました。

小此木氏は兵庫県全体の労働災害統計のデータを用いて①事故の型として墜落、転落が最も多く、転倒や挟まれ等がその後続くこと②20年前と比べ工場等が海外に生産拠点を移しているのにも関わらず、労働災害が減少していない理由は高年齢労働者が増加したことが考えられる③トラック労働者の死亡事故の事例として多いのはサイドブレーキの引き忘れで、動き出した車両を止めようとして車体と壁あるいは別の車体への挟まれによるもの④フォークリフトオペレーター

の死亡事故の事例として多いのは機器の転倒の挟まれによるもの等々を詳しく紹介されました。最後に小此木氏は「これから更に高齢労働者が増加すると思われる。安全意識の向上はもちろんだが、職場に手すりを設置する等の設備投資も大事であり、エイジフレンドリー補助金制度の活用、トラックのサイドブレーキを引くことや輪留めの設置、フォークリフトの激突や挟まれる原因の除去等を徹底することで労働災害を限りなくゼロに近づけることができる」と力説され講演は終了しました。

た。

その後、2024年度活動報告が事務局から行われ休会となりました。

2日目は各支部労職対の報告が行われ、議長団から2025年度の役員体制が提案され参加者全員の拍手をもって確認されました。そして事務局から2025年度の活動方針が提案され討論に入りました。

その中で特に議論になったのが新型コロナウイルスに関わる部分で「感染症法上5類相当とインフルエンザと同等に位置付けられた文言をそのまま残すのはどうか」との意見が出されました。また関連として「感染症と一括りにする文言で良いのではないか」との意見も出されました。それらに対し「地本労職対として再度持ち帰り、定例会議で議論し提案を行いたい」とこれからの行動案を示し参加者全員で確認しました。

最後に谷口副委員長から「この2日間で交わされた報告や意見は私たちの活動を進める上で大きな一歩となる。日々の小さな気づきや注意が仲間を守り事故を防ぐことになる。来期も引き続き皆さんと力を合わせより安全で働きやすい職場づくりを進めよう」と呼びかけ総会は終了しました。

執行委員 坪井 雄志

大阪府トラック協会・労働組合 合同清掃ボランティア活動

モラル改善とマナー向上へ地域の美化活動



総勢53名で清掃活動に取り組む

11月30日、大阪府トラック協会と労働組合（全港湾・交通労連・運輸労連・建交労）合同で清掃ボランティア活動に取り組みました。

今回は3回目で東大阪トラックターミナル周辺を、運輸労連青年女性部20名も加わり総勢53名にて、当日は快晴の中、主にトラックの路上駐車が多い幹線道路や歩道を中心に清掃を行いました。

駐車中の車から捨てられたと思われるゴミ捨てのゴミは、飲料水のペットボトルや弁当箱、タバコの吸い殻などひどい状態で、昨年11月には北大阪トラックターミナル周辺、今年5月には南港トラックターミナル周辺でも行っていますが、どこもゴミ捨てで多くのゴミが散乱していました。

これまでも路上駐車の問題には社会問題にもなっている、この活動の目的はトラックドライバーのマナー向上と地域社会の美化で、活動継続の重要性を実感しました。

最後に大阪府トラック協会の上野氏より、「我われトラック協会でもこのゴミ問題に苦慮している。トラックドライバーの休憩や待機できるスペースが少ないから路上駐車でゴミが捨てられるという側面もあるが、業界のモラルが問われるという問題にもなっている。」



清掃活動でドライバーのモラル改善の一助に



これから協会としてこれらの問題解決に向けて取り組んでいくが、そうした中で労働組合の皆さんと一緒に清掃活動ができるということは大変意義のあることだと思っている。また来年度も引き続き参加して頂きたい」と挨拶がありました。

私たち交通・運輸に携わる労働組合としてもトラックの待機場や駐車スペースが全く足りていないことは問題視しており、ドライバーが安心して休めることができる駐車スペースの確保や増設に向けた運動や行政要請行動はもちろんのこと、トラックドライバーの地位向




ゴミが散乱しているのが目に付く

上に向けたマナーの向上、モラル改善を目指し今後も積極的に取り組んでいかなければなりません。

書記次長 廣渡 信次

分かるかな？

懸賞クイズ



トラが7mの鎖に繋がれています。

では、何m先の草を食べることができたでしょうか？

691号の回答「1」

1名の方から応募があり、正解でした。以下の方にQUOカードを進呈します。
松井 謙一（三林）

692号の締め切り日は2月6日（金）です。ふるってご応募ください。

FAX：06-6572-0914